

胎・幼・幼稚・子ども

教師セミナー

のり

出エジプト2:1～10

さて、レビののひとりのがレビのをめとった。はみごもって、のをんだが、そのかわいいのをて、かのそのをしておいた。しかしもうしきれなくなったので、パピルスのかごをにれ、それにととをって、そのをにれ、ナイルのののみのにいた。そののが、そのがどうなるかをろうとして、くれてっていたとき、パロのがびをしようとナイルにりてた。のたちはナイルのをいていた。はのみにかごがあるのを、はしためをやって、それをってさせた。それをあけると、どもがいた。なんと、それはので、いていた。はそのをあわれにい、「これはきっとヘブルのどもです」とった。そのとき、そののがパロのにった。「あなたにわって、そのにをませるため、がって、ヘブルのうばをんでまいりましょうか。」パロのが「そうしておくれ」とったので、おとめはって、そののをんでた。パロのはにった。「このをれてき、にわってをませてください。があなたのをいましょう。」それで、そのはそのをきって、をませた。そのがきくなったとき、はそのをパロののもとにれてった。そのはのになった。はそのをモーセとづけた。は、「のから、がこのをきしたのです」とったからである。

１．モーセはいちばんなにまれたレムナントでした

1)のイスラエルは、エジプトのとなってされていました。

（出1:8～16）

2)エジプトのパロはイスラエルにのがまれたらせと

しました。（出1:17～22）

3)イスラエルのんがされるとき、モーセがまれました

（出2:1～10）

２．モーセはでちました

1)モーセはエジプトのをびました

2)モーセは\*をびました

3)モーセはエジプトののをびました

\* いで、すべての・をめてされるをう

３．がモーセをしてイスラエルをいされました

1)がモーセにのをるのいけにえをされました

（出3:1～20）

2)はモーセをしてエジプトにんだ10のわざわいを10のと

にえられました（出5:1～12:46）

3)がモーセをしてイスラエルがをるようにされました

（出14:1～13）



胎・幼・幼稚・子ども

教師セミナー

の

Iサムエル7:1～15

キルヤテ・エアリムのはて、のをびげ、それをののアビナダブのにび、のエルアザルをして、のをらせた。そのがキルヤテ・エアリムにとどまったからいがたって、になった。イスラエルのはをいめていた。そのころ、サムエルはイスラエルのにのようにった。「もし、あなたがたがをくしてにり、あなたがたのからのやアシュタロテをりき、をにけ、にのみえるなら、はあなたがたをペリシテのからいされます。」そこでイスラエルは、バアルやアシュタロテをりき、にのみえた。それで、サムエルはった。「イスラエルをみな、ミツパにめなさい。はあなたがたのためににりましょう。」らはミツパにまり、をんでのにぎ、そのはした。そうして、そのでった。「たちはに対してをしました。」こうしてサムエルはミツパでイスラエルをさばいた。イスラエルがミツパにまったことをペリシテがいたとき、ペリシテのたちはイスラエルにめった。イスラエルはこれをいて、ペリシテをれた。そこでイスラエルはサムエルにった。「たちの、にぶのをやめないでください。たちをペリシテのからってくださるように。」サムエルはれしていないをり、きくすのいけにえとしてにささげた。サムエルはイスラエルのためににんだ。それではにえられた。サムエルがのいけにえをささげていたとき、ペリシテがイスラエルとおうとしてづいてたが、はその、ペリシテのに、きなをとどろかせ、らをかきしたので、らはイスラエルにちかされた。イスラエルのは、ミツパからて、ペリシテをい、らをって、ベテ・カルのにまでった。そこでサムエルはつのをり、それをミツパとシェンのにき、それにエベン・エゼルというをつけ、「ここまでがたちをけてくださった」とった。こうしてペリシテはされ、とイスラエルのに、ってなかった。サムエルのきている、のがペリシテをいでいた。ペリシテがイスラエルからったは、エクロンからガテまで、イスラエルにった。イスラエルはペリシテのから、をした。そのころ、イスラエルとエモリのにはがあった。サムエルは、の、イスラエルをさばいた。

１．サムエルは、をったどもでした

1)のハンナのりのえとしてサムエルがまれました

（Iサム1:1～9）

2)サムエルをナジルとしてささげたハンナは、にかいびを

もってしました（Iサム2:1～10）

3)のみことばがえたときに、サムエルはののがあるで

ていました（Iサム3:1～3）

２．サムエルはのをしました

1)がサムエルにんで、これからうことをられました

（Iサム3:4～18）

2)サムエルはし、はとともにおられ、のことばをも

にとされませんでした（Iサム3:19）

3)のとしててられたサムエルに、がみことばでごを

わされました（Iサム3:20～21）

３．サムエルはいやしをしました

1)がサムエルのことばをにえらえました（Iサム4:1）

2)サムエルをしてミツパがこりました（Iサム7:1～15）

3)サムエルをしてイスラエルがいやされ、ペリシテをえて

までいやされました。



胎・幼・幼稚・子ども

教師セミナー

の

Iサムエル17:1～47

サウルはダビデにった。「あなたは、あのペリシテのところへって、あれとうことはできない。あなたはまだいし、あれはいからだったのだから。」ダビデはサウルにった。「しもべは、のためにのれをっています。や、がて、れのをってくと、はそのあとをってて、それをし、そのからをいします。それがにいかかるときは、そのひげをつかんでちしています。このしもべは、でも、でもちしました。あのをけていないペリシテも、これらのののようになるでしょう。けるのをなぶったのですから。」ついで、ダビデはった。「や、のからをいしてくださったは、あのペリシテのからもをいしてくださいます。」サウルはダビデにった。「きなさい。があなたとともにおられるように。」サウルはダビデにのよろいかぶとをさせた。にはのかぶとをかぶらせ、にはよろいをけさせた。ダビデは、そのよろいのに、サウルのをび、いっていてみた。れていなかったからである。それから、ダビデはサウルにった。「こんなものをけては、くこともできません。れていないからです。」ダビデはそれをぎ、のをにり、からつのなめらかなをんできて、それをいのう、にれ、げをにして、あのペリシテにづいた。そのペリシテもちをにて、ダビデのほうにじりじりとんでた。ペリシテはあたりをおろして、ダビデにをめたとき、をさげすんだ。ダビデがくて、のだったからである。ペリシテはダビデにった。「おれはなのか。をってかってるが。」ペリシテはのによってダビデをのろった。ペリシテはダビデにった。「さあ、い。おまえのをのやのにくれてやろう。」ダビデはペリシテにった。「おまえは、と、と、げをって、にかってるが、は、おまえがなぶったイスラエルのの、ののによって、おまえにちかうのだ。きょう、はおまえをのにされる。はおまえをって、おまえのをからし、きょう、ペリシテののしかばねを、の、のにえる。すべてのは、イスラエルにがおられることをるであろう。このも、がやをわずにうことをるであろう。このいはのいだ。はおまえたちをわれわれのにされる。」(33～47)

１．いからダビデは、に、もうにをてて

しました（詩78:70～72）

２．ダビデはのにゴリヤテとのいでして、のを

にらせました（Iサム17:1～47）

３．ダビデはのに、しにくるサウルからげっていましたが、

いつもをほめたたえていました（詩23:1～6）

４．ダビデはのに、をてるすべてのをえました

（I歴29:10～14）

５．ダビデはのにも、また、もう、にいましたが、

をむことはありませんでした（Ⅱサム15:13～37）